



瓊浦高等学校
学校通信
第 111 号

令和3年11月30日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

瓊浦窓の

「時の長さ」

教頭 佐藤 一司

早いもので、もうすぐ12月を迎えようとしています。今年もコロナ禍の中、学校では多くの行事が中止や縮小になるなど色々なことがありましたが、気づいてみれば今年もいよいよ終盤を迎えることになり、つくづく本当に月日の経つのは早いものだと感じています。

ところで、年齢を重ねるごとに月日が経つのが早く感じるというのですが、皆さんはどうでしょうか。現在の私は、1年間どころか10年間なんて、あっという間に過ぎてしまうような感覚があり、極端な話、ついこの前まで大学生だったように感じることもあります。しかし、思い出してみると、小学生の頃の1年間というのは途方もなく長い時間に感じていたように記憶していますし、1日の長ささえも今感じているものよりも長く、日曜日などは友達と朝から夕方まで遊び回り、本当に色々な事ができていたような気がします。もちろん、物理的な時間が変化するはずありませんので、これは私が感じる心理的な時間が変化しているに過ぎません。

このことは、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、「生涯のある時期における時間の心理的な長さは、年齢に反比例する」というジャーネーの法則で説明されています。つまり、5歳の人が感じる1年間は、50歳の人が感じる10年間に相当するということであり、これは、子供の頃は新しい経験をする事が多く時間の経つのが遅く感じるが、大人になる程新しい経験が少なくなり、その分時間が経つのが早く感じる事がその理由であるということだそうです。何となく理解できるような、できないような考え方ではありますが、皆さんはいかがでしょう。

もう一つの説として、私たちの体内時計の遅れが原因であると唱えられている方もいます。これは分子生物学者である福岡伸一先生の著書『動的平衡』（10年以上前に発刊され、かなりヒットした本ですので読まれた方もいらっしゃると思います。私も10年程前に買って、一度読んだことがあったのですが、面白かったことを思い出し、最近また久しぶりに読み返しています）の中にも出てきます。

それによると、体内時計とは、新陳代謝（体内で起こる細胞分裂や様々な化学反応）のリズムであり、加齢とともにその速度は少しずつ遅くなっていくため、物理的な時間より我々が感じる時間が遅くなっていくのだということです。例えば物理的な時間が1年経っても、体内時計は遅れて、感覚的にはその時点では半年とか10ヶ月とかしか経っていないと感じるのではないかとということです。あくまでも、これも仮説の1つではありますが、私自身は自分が生物の教員ということもあり、こちらの方が「なるほど」と腑に落ちています。

理由は他にもいろいろあるのかもしれませんが、いずれにせよ年齢を重ねると時間が経つのが早く感じるというのは現実であり、それぞれの人が感じる時間もそれぞれ違うのだと思います。また、少し寂しい感じがしますが、歳をとればとる程、残された時間はさらに短く感じるということになります。この時間をいかに充実させることができるのかと、この前の休日にソファの上でぼーっと考えていたら、あっという間に1日が過ぎてしまっていました。（笑）

《12月の行事》



- 1日(水) 人権教育
- 3日(金) インターンシップ事前指導(情2A)
PTA進路研修会
(19:00～ 長崎ブリックホール)
- 7日(火) 溶接デモ(2年機械科)
出前講座(2年)
体育コース発表会
インターンシップ(情2A)
(～9日)
- 10日(金) パソコン利用技術検定
- 14日(火) 進路ガイダンス(2年)

吹奏楽部 定期演奏会

11月5日(金)、長崎ブリックホールで吹奏楽部の第17回定期演奏会が行われました。クラシックや吹奏楽コンクールで演奏した曲から、ドラゴンクエスト、ファイナルファンタジーなどのゲーム音楽まで、幅広いジャンルの曲を披露しました。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。



文化部の活躍

長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】

- ・絵画部門
荒木 心美(機3A) 入選
- ・デザイン部門
井上 太陽(情3A) 優良賞
川西 康太(情3A) 入選
秋吉 凜汰(機2A) 入選
力武 陵(機2C) 入選
陣内 湧悟(普1A) 入選
- ・現代アート部門
磯野 結生(普2A) 入選

長崎県高等学校総合文化祭【郷土芸能部門】

和太鼓サークル 金賞
→来年夏の全国総文祭出場権獲得

エイサー同好会 金賞

第70回長崎市美術展【市展】

- ・絵画部門
磯野 結生 入選
- ・デザイン&クリエイティブ部門
荒木 心美 入選

長崎県高等学校総合文化祭【演劇部門】

演劇部「にゅうぶ～ズレ違い～」

ブロック別演技発表会

新型コロナウイルスの影響で実施できなかった9月の体育祭。その代替行事として、11月2日（火）にブロック別演技発表会が行われました。昨年度と同様、3年生のブロック別演技に加えて、クラス対抗リレーやブロック対抗リレーを行いました。4ブロックの熾烈な競争の結果、優勝したのは黄ブロックでした。



3年生はこの日のために毎日練習を行い、存分に成果を発揮してくれました。限られた条件下でも精一杯取り組む姿勢は、今後必ず生かされる時が来ます。2学期も残り僅かとなったこの時期にあって、非常にたくましい姿が見られました。

来年度は、本来の瓊浦の体育祭を経験した生徒が一人もいないということになります。ですが、だからこそ新しい風を吹かせてくれることでしょう。全学年、来年への大きな期待がもてるほどの盛り上がりを見せてくれました。

瓊浦祭

昨年度同様、今年度の瓊浦祭も学年別での開催となりました。11月2日（火）の午後に3年生、11月3日（水）の午前中に2年生、午後に1年生という日程でした。

1年生は「笑顔」をテーマに動画を制作。2年生は例年通り展示物を各クラスで完成させて総合体育館2Fに展示。3年生はブロック別演技発表会があったため、今回は全学年全クラスが取り組んだ幟以外で、瓊浦祭での活動はありませんでした。

吹奏楽部やエイサー・和太鼓のステージや毎年恒例の歌自慢コンテストなどに加えて、今年度は参加型の瓊浦祭にということで、生徒会主導で「脱出ゲーム」が行われました。様々な謎を解き明かして脱出に挑戦するこのゲーム。苦戦しながらも仲間と共に考えて取り組めたため、非常に有意義な時間となったようです。

2学期の大きな学校行事もこれで終了となりました。残る今学期の活動を、更に精力的なものにしていって欲しいところです。



各種表彰

○歌自慢優勝者	○展示部門
1年部門 横山 弘太郎(情A)	金賞 機2A
2年部門 早瀬 愛紗(普D)	銀賞 情2A
3年部門 松本 秀美(普B)	○幟部門
	金賞 情3A
	銀賞 情1A

【部活動戦績】

☆ 全国

● 男子バドミントン部

ALL JAPAN Badminton 高校選抜大会
(全国からTOP12チーム参加の団体戦)

準優勝



☆ 九州

● 空手道部

全九州高等学校空手道新人大大会兼 全国高等学校空手道選抜大会予選会

男子団体組手	第3位
女子団体組手	第3位
男子個人組手	
-76kg級 石川 碧汐(機1C)	準優勝
-68kg級 山口 隼生(普2D)	第3位
-55kg級 村野 颯太(機2C)	第3位
女子個人組手	
-53kg級 中島 梨華(情1A)	第3位



● 柔道部

第25回九州高等学校新人柔道大会

男子個人	
-60kg級 平山 楓海(普2D)	第3位

● ボクシング

全九州高等学校ボクシング新人大大会

フライ級 山下 裕也(機1C)	第3位
-----------------	-----

● 女子ハンドボール部

第73回日本ハンドボール選手権大会第7回九州ブロック予選大会

代表権獲得

☆ 県内

● 男子バドミントン部

長崎県高等学校新人体育大会

男子団体	優勝
男子シングルス	
櫻井 煌介(普2D)	優勝
栗山 寿一(普2D)	第2位
奥野 天斗(普2D)	第3位
縣 涼介(普2D)	第3位
男子ダブルス	
櫻井 煌介・南本 和哉(普2D)	優勝
奥野 天斗・縣 涼介	第2位
栗山 寿一・森阪直弘(普2D)	第3位
川本 諒大(普1D)・山口 健太郎(普1D)	第3位

● 男子ハンドボール部

長崎県高等学校新人体育大会

優勝

● 女子ハンドボール部

長崎県高等学校新人体育大会

第2位

● 卓球部

長崎県高等学校新人体育大会

男子団体	第2位
男子ダブルス	
辻 悠太(普1A)・坂本 蓮(普1D)	第3位
田中 諒(普2D)・小田原 煌(普1B)	第3位
女子団体	第2位
女子ダブルス	
中道 萌花(普2D)・田川 優月(普2D)	第3位

● 柔道部

長崎県高等学校新人体育大会

男子個人	
-60kg級 平山 楓海	第1位
-81kg級 鬼木 悠(普1B)	第3位
松田 基裕(普1B)	第3位
女子個人	
-48kg級 近藤 玲馨(普2D)	第2位
-78kg級 前田 花梨(普1D)	第3位

● 剣道部

長崎県高等学校新人体育大会

男子団体	第3位
女子個人 後藤 春花(普2D)	ベスト8

● ボクシング

長崎県高等学校新人体育大会

団体	第2位
ピン級 成瀬 太陽(普1C)	第1位
フライ級 山下 裕也	第1位